

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	幹線道路(市道)整備(用地)事業						継続								
コード	24	-	69	-	01	-	00	予算事業名	幹線道路(市道)整備(用地)						
担当部署	建設部		用地課		用地第一担当		予算事業コード	会計	10	款	08	項	02	目	03

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務			義務
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち		実施計画事業名	幹線道路(市道)整備		
方向性(節)	2節	交通ネットワークの構築		個別計画等の名称	なし		
施策	1	道路交通体系の整備		当事業に関連する事務事業	なし		
細施策	2	地域の活動を豊かにする幹線道路の整備					
事業実施の根拠となる法令・条例等	道路法・道路構造令・租税特別措置法・収用法						

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	全ての道路利用者を対象に市道幹線道路の継続的な整備に向け公共事業用地の取得を行い、幹線道路ネットワークの樹立と市域の均衡ある発展を目指す。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	道路予定地の事業用地取得に向け、必要に応じ物件調査を業務委託により実施し、用地買収単価の決定・租税特別措置法に基づく税務署協議を経て、関係地権者と交渉を行い用地買収、物件補償契約を締結する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額					151,800	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A					151,800	135,030
人件費 B	0	0	0	0	9,978	9,978
総コスト(C=A+B)	0	0	0	0	161,778	145,008
正規職員(1年間の従事人数)					1.36人	1.36人
臨時職員(1年間の従事人数)					0.00人	0.00人
国県支出金 D					0	0
その他特定財源 E					0	0
市の財政負担(=C-D-E)	0	0	0	0	161,778	145,008

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果 用地取得	m <sup>2</sup>	1,262.5	1,345.8	2,343.6	1,633.1	730.0	26年度 1,210.0
指標の定義・説明	1年間の買収面積(当該年度)						
指標の定義・説明							
指標の定義・説明							
指標の定義・説明							
指標に基づく評価	平成25年度より用地課設置に伴い平成24年度の評価は実施しない。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
本事業は市全体の道路交通体系を検討考慮して計画された道路整備であるため、沿線住民(地権者)の事業への理解と協力が必要である。用地買収費(補償費等を含む)には多額の予算が必要であり予算規模が事業の進捗に影響を及ぼすことから、今後、関係機関と協議し費用対効果等により優先路線の選定を考慮する必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	具体的な調査実績はない。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	総合計画の中で「道路交通体系の整備」に掲げられており、道路交通体系に基づき、地域における幹線道路の整備を図りつつ、歩行者が安心して歩ける道路づくりのために、本事業は、重要な役割を担っているため、その計画が大きく後退する。

# 平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		建設部				用地課	用地第一担当
事務事業名称		24	69	01	00	幹線道路(市道)整備(用地)事業	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					